

平成 30 年度
(2018 年度)

決 算 審 査 意 見 書

浅川清流環境組合監査委員



浅川監第14号

令和元年(2019年)8月30日

浅川清流環境組合

管理者 大坪冬彦様

浅川清流環境組合監査委員 石田 等

浅川清流環境組合監査委員 鈴木 成夫

平成30年度浅川清流環境組合決算審査意見について

地方自治法(昭和22年法律第67号)第233条第2項の規定に基づき、審査に付された平成30年度浅川清流環境組合決算を審査した結果、次のとおり意見を付します。

目 次

第 1 審査の概要	-----	1
1 審査の対象	-----	1
2 審査の期間	-----	1
3 審査の手続	-----	1
第 2 審査の結果	-----	2
1 総 括	-----	2
2 一般会計	-----	3
(1) 歳入決算状況	-----	3
① 款別歳入状況	-----	3
② 歳入決算状況の内訳	-----	4
(2) 歳出決算状況	-----	5
① 款別歳出状況	-----	5
② 歳出決算状況の内訳	-----	6
(3) 予算の流用状況	-----	7
第 3 意見・要望等	-----	8

注 記

イ 文中に用いる金額は、原則として千円単位で表示し、単位未満を四捨五入した。

そのため、合計等と符合しない場合がある。

ロ 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。

ハ 構成比率については、内訳の計が100.0%とならない場合がある。

平成30年度浅川清流環境組合決算審査意見書

第1 審査の概要

1 審査の対象

- (1) 平成30年度浅川清流環境組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成30年度浅川清流環境組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書
- (3) 平成30年度浅川清流環境組合一般会計実質収支に関する調書

2 審査の期間

令和元年7月1日から令和元年8月29日まで

3 審査の手続

審査にあたっては、管理者から提出された一般会計決算書及び附属書類について、地方自治法等関係法令に準拠して調製されているかどうか、決算の計数は正確であるか否かを検証するとともに、予算は適正に執行されているかを主眼として、関係書類、帳票類と照合その他通常実施すべき審査手続により実施した。

第2 審査の結果

1 総括

平成30年度浅川清流環境組合一般会計の歳入歳出決算の総額は、表1に示すとおりである。

審査に付された一般会計の決算書及び決算付属書類は、地方自治法及び関係法令の規定に従い、会計原則にそって作成されている。総括的に予算の執行状況をみると、地方自治法及び関係法令等に基づき事務処理がなされ、概ね適正に執行されていることが認められた。

更にこれらの計数についても、関係諸帳票及び証書類と照合した結果いずれも符合し、また出納閉鎖日（令和元年5月31日）現在における平成30年度歳計剰余金と、指定金融機関が発行した証書類とを照合検算した結果、その金額は合致しており、当年度における決算を適正に表示しているものと認められた。

表1

平成30年度一般会計歳入歳出決算総括表

（単位：円：％）

予算現額	歳入		歳出		歳入歳出決算 差引残額	翌年度へ繰り越すべき財源			
	決算額	収入率	決算額	執行率		継続費通次 繰越額	繰越明許費 繰越額	事故繰越 繰越額	実質収支額
5,788,414,000	5,779,811,799	99.9	5,743,592,636	99.2	36,219,163	0	540,000	0	35,679,163

表2

款別歳入状況

款別	区分	平成30		
		予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)
1	分担金及び金	1,240,381,000	1,240,381,000	1,240,381,000
2	国庫支出金	2,045,329,000	2,035,366,000	2,035,366,000
3	繰越金	43,401,000	43,400,111	43,400,111
4	諸収入	3,000	1,364,688	1,364,688
5	組合債	2,459,300,000	2,459,300,000	2,459,300,000
	合計	5,788,414,000	5,779,811,799	5,779,811,799

2 一般会計

(1) 歳入決算状況

① 款別歳入状況

款別歳入状況の年度比較は、表2に示すとおりである。

歳入決算額は、57億7,981万2千円で前年度決算額12億8,958万8千円と比べ、44億9,022万4千円(348.2%)の増加となっている。予算額57億8,841万4千円に対しては、99.9%の収入率で前年度100.0%と比べ0.1ポイントの減少を示し、調定額57億7,981万2千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

年度比較表

(単位：円：%)

年 度		収 入 済 額 構 成 比	予算現 額対比 (C)/(A) ×100	調定額 対比 (C)/(B) ×100	平成29年度 収入済額 (D)	対 前 年 度	
不納欠損額	収入未済額					増減額(E) (C) - (D)	比率 (E)/(D) × 100
0	0	21.5	100.0	100.0	998,160,000	242,221,000	24.3
0	0	35.2	99.5	100.0	0	2,035,366,000	皆増
0	0	0.8	100.0	100.0	25,350,456	18,049,655	71.2
0	0	0.0	45,489.6	100.0	77,352	1,287,336	1,664.3
0	0	42.5	100.0	100.0	266,000,000	2,193,300,000	824.5
0	0	100.0	99.9	100.0	1,289,587,808	4,490,223,991	348.2

② 歳入決算状況の内訳

1 分担金及び負担金

歳入決算額は、12億4,038万1千円で前年度決算額9億9,816万円と比べ、2億4,222万1千円(24.3%)の増加となっている。予算現額12億4,038万1千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。調定額12億4,038万1千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

内訳は、組合構成市負担金で、事務経費負担金が6億4,038万1千円、周辺環境整備負担金が6億円となっている。

各市の負担額は、日野市が事務経費負担金として2億1,346万1千円、国分寺市が事務経費負担金及び周辺環境整備負担金として5億1,346万円、小金井市が事務経費負担金及び周辺環境整備負担金として5億1,346万円となっている。

2 国庫支出金

歳入決算額は、20億3,536万6千円で前年度と比べ皆増となっている。予算現額20億4,532万9千円に対しては、99.5%の収入率で調定額20億3,536万6千円に対しては、100.0%の収入率となっている。

3 繰越金

歳入決算額は、4,340万円で前年度決算額2,535万円と比べ、1,805万円(71.2%)の増加となっている。予算現額4,340万1千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。調定額4,340万円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

4 諸収入

歳入決算額は、136万5千円で前年度決算額7万7千円と比べ、128万7千円(1,664.3%)の増加となっている。予算現額3千円に対しては、45,489.6%の収入率で前年度2,578.4%と比べ42,911.2ポイントの増加を示し、調定額136万5千円に対しては、100.

0%の収入率で前年度と同一である。

内訳は次のとおりである。

・預金利子

歳入決算額は、1万2千円で前年度決算額8千円と比べ、4千円（53.7%）の増加となっている。予算現額1千円に対しては、1,242.1%の収入率で前年度807.9%と比べ434.2ポイントの増加を示し、調定額1万2千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

・雑入

歳入決算額は、135万2千円で前年度決算額6万9千円と比べ、128万3千円（1,852.1%）の増加となっている。予算現額2千円に対しては、67,613.4%の収入率で前年度3,463.7%と比べ64,149.7ポイントの増加を示し、調定額135万2千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

4 組合債

歳入決算額は、24億5,930万円で前年度決算額2億6,600万円と比べ、21億9,330万円（824.5%）の増加となっている。予算現額24億5,930万円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。調定額24億5,930万円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

(2) 歳出決算状況

① 款別歳出状況

款別歳出状況の年度比較は、表3に示すとおりである。

歳出決算額は、57億4,359万3千円で前年度決算額12億4,618万8千円と比べ、44億9,740万5千円（360.9%）の増加となっている。予算現額57億8,841万4千円に対しては、99.2%の執行率で前年度96.6%と比べ2.6ポイントの増加を示している。

表 3

款別歳出状況 年度比較表

(単位：円：%)

区分 款別	平成 30 年度				平成 29 年度				対前年度	
	予算現額	決算額	執行率	決算額 構成比	予算現額	決算額	執行率	決算額 構成比	増減額	比率
1 議会費	5,929,000	5,491,147	92.6	0.1	5,928,000	4,868,755	82.1	0.4	622,392	12.8
2 総務費	809,327,000	790,881,020	97.7	13.8	790,562,000	770,939,942	97.5	61.9	19,941,078	2.6
3 事業費	4,952,123,000	4,947,055,440	99.9	86.1	473,023,000	470,379,000	99.4	37.7	4,476,676,440	951.7
4 公債費	1,035,000	165,029	15.9	0.0	1,000	0	0.0	0.0	165,029	皆増
5 予備費	20,000,000	0	0.0	0.0	20,000,000	0	0.0	0.0	0	0.0
合計	5,788,414,000	5,743,592,636	99.2	100.0	1,289,514,000	1,246,187,697	96.6	100.0	4,497,404,939	360.9

② 歳出決算状況の内訳

1 議会費

歳出決算額は、549万1千円で前年度決算額486万9千円と比べ、62万2千円（12.8%）の増加となっている。予算現額592万9千円に対しては、92.6%の執行率で前年度82.1%と比べ10.5ポイントの増加を示している。

2 総務費

歳出決算額は、7億9,088万1千円で前年度決算額7億7,094万円と比べ、1,994万1千円（2.6%）の増加となっている。予算現額8億932万7千円に対しては、97.7%の執行率で前年度97.5%と比べ0.2ポイントの増加を示している。

3 事業費

歳出決算額は、49億4,705万5千円で前年度決算額4億7,037万9千円と比べ、44億7,667万6千円（951.7%）の増加となっている。予算現額49億5,212万3千円に対しては、99.9%の執行率で前年度99.4%と比べ0.5ポイントの増加を示している。

4 公債費

歳出決算額は、16万5千円で前年度と比べ皆増となっている。予算現額103万5千円に対しては、15.9%の執行率となっている。

5 予備費

予備費については、当初予算額2,000万円で、充当は無かった。

(3) 予算の流用状況

当年度予算の流用は、款2総務費 節3職員手当等から節19負担金、補助及び交付金へ1件、59万5千円となっている。前年度は、予算の流用は無かった。

以上、本会計については、予算の目的に沿って概ね適正に執行されているものと認められた。

第3 意見・要望等

浅川清流環境組合は、日野市、国分寺市、小金井市の3市により、ごみ処理施設の設置及び運営等を共同で行うことを目的として、平成27年7月1日に設立された一部事務組合である。新可燃ごみ処理施設は、令和2年度の本格稼働をめざして施設建設工事等準備が着々と進められているところである。平成30年度は、組合設立4年目となり、施設整備に向けた経費が増加し、歳出決算額のうち、事業費は、49億4,705万5千円で、前年度4億7,037万9千円と比較すると44億7,667万6千円（951.7%）大幅に増加した。

予算の執行管理については、概ね適正に処理されていた。

施設の建設や運営にあたっては、3市との連携を密にするとともに、積極的に情報を開示し、住民への説明を十分に行って進めていただくよう要望する。

